

しょうがくせい みな
小学生の皆さんへ

ごがつ はい なつ はじ ようき
五月に入り、いよいよ夏の初めらしい陽気になってきました。

この時期になったら紹介しようと思っていた木があります。聖堂の建物のすぐそばにある「小手毬」です。4

がつ なかごろ はな はじ みごろ むか むすう しろ こぼな あつ てまり ちい
月の中頃から花をつけ始め、見頃を迎えました。無数の白い小花が集まって手毬のようになり、その小さい

てまり はな いっぽん えだ いく なら はな かわい とお
手毬のような花が、一本の枝に幾つも並んでいます。花の可愛らしさもさることながら、そばを通るだけで

てまり ゆ やさ ふんいき つつ
手毬が揺れるような、そんな優しい雰囲気になります。

ところで、この2か月余り、私にとっては、とても不思議な時間が流れています。皆さんの何倍も生きてきまし

たが、生まれて初めての感覚です。時計の時間は同じように流れていて、周りの自然は移り変わっています。

しごと あたま からだ いちおうご き がつ じかん と
お仕事を、頭も体も一応動かしているつもりなのですが、ふと気づくと、3月から時間が止まっているよ

うな感じでは

そうりつしゃせい ことば ひ せんしゅう ことば て あ かみ
創業者聖マグダレナ・ソフィアのお言葉「日めくりカレンダー」で、先週、こんな言葉に出会いました。「神の

わざ は ゆっくり かつ ひっそり と な と 成し遂げられます。」『ゆっくり』『ひそかに』、それが神様のなさりよ

だと、はっとさせられました。現代人のスピード感覚では耐えられないような、待つより他ない時間の中で、

いちにち はや ふつう せいかつ もど わたし わざわ
一日も早く普通の生活に戻りたくてもがいているような私たちです。しかし、コロナウィルスの災いは『ゆ

っくり』『ひそかに』世界を変えながら終わっていくのではないのでしょうか。というよりは、すでに変わってきて

いたものが、最後の場面を迎えているといった方が正しいのかもしれません。新しい世界の姿は、まだはっ

きり見えてきません。世界の政治・経済の枠組み、人間の考え方や感じ方、自然と人間との関係、国を超え

たつながら…等々が姿を変えていく。歴史が動いていきます。

かぜ う やさ ゆ こてまり はな み はたら かみさま み
そよ風を受けて優しく揺れる「小手毬」の花を見ると、『ゆっくり』『ひそかに』働いておられる神様を見

る思いがします。そして、このところの不思議な時間が、意味を持つように感じるのです。

がっこう こてまり
学校の「小手毬」

